旧多摩聖蹟記念館 2026 年冬季企画公募展

■作品募集 1月5日(月) ⇒ 1月21日(水)

■会期 1月8日(木) ⇒ 3月1日(日)

※応募作品の展示は1月29日(木)より

■_{会場} 旧多摩聖蹟記念館

(東京都多摩市連光寺 5-1-1 都立桜ヶ丘公園内)

■入館料·出品料 無料

■ギャラリートーク 1月10日(土)、1月31日(土)、2月14日(土) 各日10~12時、13~15時。各20分程度 事前申込不要。時間内に記念館事務室で受付

あなたの作品を記念館の収蔵品と 一緒に飾ってみませんか?

主催:多摩市教育委員会協力:多摩市書道連盟

旧多摩聖蹟記念館の創設者である田中光顕は、土佐藩出身の維新志士です。そのため記念館では、幕末・明治期に活躍した人びとの書画を所蔵しています。今回は、それらのなかから光顕の坂本龍馬への追悼歌など、梅にちなんだ作品を展示します。 光顕と同じ土佐藩出身だった坂本龍馬は「才谷梅太郎」の変名を使用していました。光顕は「梅」を龍馬に見立て、慶応 2 年の伏見寺田屋の襲撃事件を「伏見の雪」に、自分が現場に駆け付けた慶應3年の京都近江屋の暗殺事件を「都の霜」として「梅の花は伏見の雪は凌いだのに 京の霜にしぼんでしまった」という意の和歌を詠みました。

今回、市民の皆さまから、この和歌を課題とした書き初めを募集して、展示いたします。皆さまのご応募・ご来館をお待ちしています。



旧多摩聖蹟記念館 Webサイト



旧多摩聖蹟記念館 2026 年冬季企画公募展

聖蹟 KAKIZOME 書道展'26

~田中光顕と龍馬の梅~

-【募集要項】

【 募 集 期 間 】 2026年1月 5日(月) ~ 1月21日(水) 必着 【公募作品展示期間】2026年1月29日(木) ~ 3月1日(日)

※応募多数の場合には、期間内に展示替えを行います。

※2026年1月8日(木)から課題となる記念館の収蔵品を展示します。

【出品料・入館料】 無料

【 休 館 日 】 毎週月・水曜日(祝日除く)、1月 13 日(火)、20 日(火)、27 日(火) 2月 10日(火)、17日(火)、24日(火)

【開館時間】 10:00~16:00

【 課 題 内 容 】 AかBかを選択し、毛筆で墨を用いて書いてください(漢字・仮名どちらも可)。 課題(A)半紙(縦)に、「聖蹟」・「梅」・「霜」のうち、いずれかの言葉を書いてください。 課題(B)色紙大(約 24×27cm)の紙(色紙、料紙など)に下記の和歌を書いてください。 「梅の花都の霜にしほみけり 伏見の雪は凌きしものを」

【 応 募 先 】

下記のどちらかの住所まで、<u>課題作品と出品票</u>を持参、または郵送してください。 〒206-0025 多摩市永山 1-5 ベルブ永山 3F 多摩市教育委員会 教育振興課 文化財係 (持参・郵送どちらでも受付/開庁時間:平日(祝日除く)8:30~17:00) 〒206-0021 多摩市連光寺5-1-1(都立桜ヶ丘公園内) 旧多摩聖蹟記念館

(持参のみ受付/開館時間:10:00~16:00、開館日を公式 HP でご確認の上、来館ください)

【注意事項】

- ・応募は一人一点に限ります。規定外の作品は、出品をお断りすることがあります。
- ・展示の際は、作品と共に出品票の作者名を掲示します。ペンネーム等も可とします。
- ・作品の展示方法は一任いただきます。作品の裏面に直接台紙等を貼ることがあります。
- ・作品の返却を希望する場合は、応募時にレターパックなど記録の残る返信用封筒を同封するか、 2026年3月19日(木)~3月31日(火)の期間に、旧多摩聖蹟記念館までお越しください。



【旧多摩聖蹟記念館 交通案内】



聖ヶ丘団地経由永山駅行バス「記念館前」下車

○京王相模原線・小田急多摩線永山駅から

聖ヶ丘団地経由聖蹟桜ヶ丘駅行バス「記念館前」下車

○車で来館される場合は、

都立桜ヶ丘公園駐車場(無料)をご利用ください

		聖蹟 KA	KIZOME =	 	'26			
	出品票						(コピー	可)
作者名*1								
ご連絡先*2								
出品者名								
(団体名・								
代表者名)								
ご住所	₹							
電話番号								
返却希望	#	*	有	(来館	•	郵送)

- *1:作者名はペンネームでも可とします。
- *2:連絡先について、団体で提出される場合は代表者のものをご記入ください。
- *3:応募に際して提供された個人情報は、主催者が適切に管理し、 本展に関わる事項以外には使用しません。

受付 No : 26 べ・記